

**安全性データシート**

改定日: 2017年11月6日

発行日: 2010年4月15日

SDS番号: 194B-27

**セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別****1.1. 製品識別**

785 パーティング潤滑剤 (バルク)

**1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途**

合成ベース かじり、焼き付き、腐食、電食を防ぎ、金属部品の組立て、分解を簡単にします。  
酸素システムには使用しないでください。

**1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報****会社:**

A.W. CHESTERTON COMPANY  
860 Salem Street  
Groveland, MA 01834-1507, USA  
電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785  
(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)  
SDSの要求: www.chesterton.com  
Eメール (SDSに関する質問): ProductMSDSs@chesterton.com  
Eメール: customer.service@chesterton.com

**供給元:**

株式会社 明治屋  
神奈川県横浜市中区尾上町5丁目76番地  
TEL 045-681-2741 FAX 045-681-2731  
Eメール: contact-ches@meidi-ya.com

**1.4. 緊急時電話番号**

1日24時間、年中無休  
Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

**セクション 2: 危険有害性の要約****2.1. 物質または混合物の分類****2.1.1. 欧州規制1272/2008 [CLP] / GHSによる分類**

水生慢性 3, H412

**2.1.2. 追加情報**

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

**2.2. ラベル項目****欧州規制1272/2008 [CLP] / GHSによるラベル付け**

危険の絵表示: なし

信号語: なし

危険有害性情報: H412 長期的影響により水生生物に有害。

使用上の注意: P273 環境への放出を避けること。

補足情報: なし

**2.3. その他の危険性**

既知の影響なし

## セクション 3: 組成、成分情報

## 3.2. 混合物

危険成分 <sup>1</sup>	重量%	CAS番号 / EC番号	CLP/GHS分類
水素化処理された重ナフサ(石油)*	1-3	64742-48-9 265-150-3	引火性液体 3, H226 吸引性呼吸器有害性 1, H304 皮膚刺激性 2, H315 STOT 単回暴露 3, H336 水生慢性 2, H411
溶剤ナフサ(石油)、軽芳香族*	1-2	64742-95-6 265-199-0	引火性液体 3, H226 吸引性呼吸器有害性 1, H304 皮膚刺激性 2, H315 STOT 単回暴露 3, H336 水生慢性 2, H411
メタノール	0.1-0.5	67-56-1 200-659-6	引火性液体 2, H225 急性毒性 3, H301/311/331 STOT 単回暴露 1, H370

その他の成分:

アルミニウム**	5-10	7429-90-5 231-072-3	分類されていません**
----------	------	------------------------	-------------

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。

\*ベンゼンの含有量は0.1 % w/w 以下。

\*\*可燃性と水反応性に対しては、それぞれ、国連テスト N 1 と N 5 に基づき、分類されていません。職場での暴露限界のある物質。

<sup>1</sup>分類基準: \* 労働安全衛生法

\* 毒物および劇物取締法

\* GHS, 1272/2008/EC, REACH

## セクション 4: 応急処置

## 4.1. 応急処置情報

**吸入:** 新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。

**皮膚への付着:** 石鹸水で皮膚を洗浄してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

**目に入った場合:** 水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

**呑み込んだ場合:** 無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。

## 4.2. 最も重要な徴候と影響(急性および遅延)

直接接触すると目にかすかな刺激を与えることがあります。

長時間あるいは繰返し皮膚に付着すると、皮膚にかすかな刺激を与えることがあります。

## 4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

**セクション 5: 火災時の処置****5.1. 消火剤**

**適切な消火剤:** 二酸化炭素, 乾燥薬品, 発泡 あるいは 水霧

**不適切消火剤:** ウォータージェット

**5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性**

200° C以上の温度で脱重合を起こし、極めて引火性の高いブタンモノマーを発生することがあります。

**5.3. 消防の際のアドバイス**

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

**セクション 6: 漏出時の処置****6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

その場を退去してください。充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

**6.2. 環境に対する注意**

下水、河川、水路に流さないでください。

**6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料**

流出分は小さな場所に回収してください。吸収性の材料(砂、おがくず、クレー等)で回収し、廃棄に適した容器に入れてください。

注意 - こぼれた後床が滑りやすくなっているかもしれません。

**6.4. 他のセクションの参照**

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

**セクション 7: 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱いのための注意**

正しい就業態度を守ってください。炭化水素を使用する間、作業区域で飲食、喫煙をしないでください。

長時間あるいは繰り返し皮膚に接触させないでください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

**7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)**

熱や湿気のない所に保管してください。

**7.3. 具体的な最終用途**

予防策は特になし。

## セクション 8: 暴露防止及び保護措置

## 8.1. 管理パラメーター

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>
水素化処理された重ナフサ(石油)	-	-	-	-
溶剤ナフサ(石油)、軽芳香族	-	-	100	525
アルミニウム	200 (皮膚)	260	(吸引可能)	1
メタノール	(吸引可能)	0.5	200	262
	(総塵)	2	(皮膚)	
			STEL:	328
			250	

Chestertonの推薦する限界: 5 mg/m<sup>3</sup> (オイルミスト).

## 8.2. 曝露制限

## 8.2.1. 設備対策

条件は特になし。許容限界を超える場合は、充分換気してください。

## 8.2.2. 作業員の保護対策

**呼吸器系の保護:** 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可された有機蒸気呼吸マスクを使用してください  
(例: 欧州規格フィルタータイプ A-P).

**手袋:** 耐薬品性手袋 (例: ネオプレンあるいはニトリル).

**目 / 顔の保護:** 安全メガネ

**その他:** なし

## 8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

## セクション 9: 物理的及び化学的性質

## 9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	軟性ペースト	臭気	かすかな臭気
色	グレー	においの閾値	未定
初留点	適応せず	20°Cでの蒸気圧	< 1 mm Hg
融点	未定	重量比芳香物含有率 (%)	1%
揮発率%(容量比)	4%	pH	適応せず
引火点	93.3°C	相対密度	1.2 kg/l
方法	PM閉カップ	係数(水/油)	< 1
粘度	1 百万 cps @ 25°C	蒸気密度(空気=1)	> 1
自己発火温度	未定	蒸発率(エーテル=1)	< 1
分解温度	未定	水溶性	不溶性
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	適応せず	酸化性	適応せず
引火性(固体、ガス)	適応せず	爆発性	適応せず

## 9.2. その他の情報

なし

**セクション 10: 安定性及び反応性****10.1. 反応性**

セクション10.3と10.5を参照。

**10.2. 化学的安定性**

安定

**10.3. 危険な反応の可能性**

200° C以上の温度で脱重合を起こし、極めて引火性の高いブタンモノマーを発生することがあります。

**10.4. 避けるべき条件**

炎と高温。

**10.5. 配合禁忌薬品**

酸、塩基、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

**10.6. 危険な分解物**

一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙。

**セクション 11: 有害性情報****11.1. 毒性影響に関する情報**

**通常使用時の主な接触経路:** 吸引、皮膚や目への付着。

**急性毒性 -**

**経口:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
水素化処理された重ナフサ(石油)	致死量50(LD50), ラット	> 5000 mg/kg
溶剤ナフサ(石油)、軽芳香族	致死量50(LD50), ラット	> 3492 mg/kg
メタノール	致死量50(LD50), ラット	5628 mg/kg (IUCLID)
メタノール	人体致死量	143 mg/kg (RTECS)

**経皮:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
水素化処理された重ナフサ(石油)	致死量50(LD50), うさぎ	> 3160 mg/kg
溶剤ナフサ(石油)、軽芳香族	致死量50(LD50), うさぎ	> 3160 mg/kg
メタノール	最小致死量, 猿	393 mg/kg (IUCLID)

**吸入:** 高濃縮蒸気を吸込むと目や呼吸器系の炎症、めまい、頭痛、その他の中枢神経の異常を起こすことがあります。

物質	テスト	結果
溶剤ナフサ(石油)、軽芳香族	致死濃度50(LC50), ラット	> 6.193 mg/l
メタノール	最小致死濃度, 猿	1.3 mg/l (IUCLID)

**皮膚腐食 / 刺激:** 長時間あるいは繰り返し皮膚に付着すると、皮膚にかすかな刺激を与えることがあります。

**重篤な目の損傷 / 刺激:** 直接接触すると目にかすかな刺激を与えることがあります。

**呼吸器または皮膚の感作:** 過敏症を起こさないとされています。

**胚細胞突然変異原性:** アルミニウム, メタノール: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

<b>がん原性:</b>	本製品は、国際ガン研究機関(IARC)あるいは法規(欧州共同体)1272/2008の規定する発がん性物質を含有していません。
<b>生殖毒性:</b>	アルミニウム, メタノール: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
<b>STOT - 単回暴露:</b>	アルミニウム: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
<b>STOT - 反復暴露:</b>	アルミニウム, メタノール: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
<b>吸引性呼吸器有害性:</b>	入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
<b>その他の情報:</b>	既知の影響なし

**セクション 12: 環境影響情報**

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

**12.1. 毒性**

水素化処理された重ナフサ(石油), 溶剤ナフサ(石油), 軽芳香族: 急性の場合水生生物にやや有毒です(最も敏感な種でLC50/EC50が1から10 mg/リットル)。

**12.2. 持続性・分解性**

水素化処理された重ナフサ(石油), 溶剤ナフサ(石油), 軽芳香族: 生分解は大気環境で数日から数週間以内に起こります; 本来生分解性. メタノール: 直ちに生分解可能。アルミニウム: 無機物質。

**12.3. 生物蓄積の可能性**

水素化処理された重ナフサ(石油), 溶剤ナフサ(石油), 軽芳香族: 生物濃縮の可能性のある構成物質を含みます。メタノール: 生体内蓄積しません。

**12.4. 土壤中の移動性**

ペースト. 非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。

**12.5. PBT・vPvB評価の結果**

入手不可

**12.6. その他の悪影響**

既知の影響なし

**セクション 13: 廃棄上の注意****13.1. 廃棄処理方法**

汚れたものは、正式に認可された設備で焼却してください。処分前に安定化、固化してください。  
地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。EC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定。

## セクション 14: 輸送上の注意

## 14.1. UN番号

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず  
 TDG: 適応せず  
 US DOT: 適応せず

## 14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし  
 TDG: 無害、規制なし  
 US DOT: 無害、規制なし

## 14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず  
 TDG: 適応せず  
 US DOT: 適応せず

## 14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず  
 TDG: 適応せず  
 US DOT: 適応せず

## 14.5. 環境への危険性

適応せず

## 14.6. ユーザーへの特別な注意

適応せず

## 14.7. Marpol 73/78附則IIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

## 14.8. その他の情報

適応せず

## セクション 15: 適用法令

## 15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規

日本PRTR	クラスI薬品: なし	クラスII薬品: なし
--------	---------------	----------------

その他の国内規制: なし

**セクション 16: その他の情報**

**略語一覧:** ACGIH:米国産業衛生専門家会議  
 ADN:内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ADR:道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ATE:急性毒性推定値  
 BCF: 生物濃縮係数  
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値  
 CLP:分類、ラベル、包装に関する法規(1272/2008/EC)  
 GHS:世界調和システム  
 ICAO:国際民間航空機関  
 IMDG:国際海上危険物規定  
 LC50:試験動物の50%を死亡させる致死濃度  
 LD50:試験動物の50%を死亡させる投与量  
 LOEL:最小作用量  
 NOEC:最大無作用濃度  
 NOEL:最大無作用量  
 N/A:該当せず  
 PBT:難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質  
 PEL:許容暴露限度  
 REACH:化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制(1907/2006/EC)  
 RID:鉄道による危険物の国際輸送に関する規定  
 SDS:安全性データシート  
 STEL:短時間暴露許容濃度  
 STOT: 特定標的臓器毒性  
 TDG:危険物輸送に関する勧告(カナダ)  
 TLV:暴露限界  
 US DOT:米国運輸省  
 vPvB:極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質  
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

**主な参考文献およびデータ出典:** 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)  
 欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報  
 スウェーデン化学物質庁(KEMI)  
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク(TOXNET)  
 化学分類および情報データベース(CCID)

**GHSによる混合物の分類方法:**

分類	分類手順
適応せず	適応せず

**関連するH(危険)-ステートメント:** H225: 引火性の高い液体および蒸気。  
 H226: 引火性の液体および蒸気。  
 H301/311/331: 飲み込んだり皮膚に接触したり吸入すると有毒。  
 H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。  
 H315: 皮膚刺激。  
 H336: 眠気やめまいのおそれ。  
 H370: 臓器の障害。  
 H411: 長期的影響により水生生物に毒性。

**危険の絵表示名:** 適応せず

**本改訂によるSDSの変更:** セクション 3, 4.1, 5.2.



**その他の情報:** なし

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。  
使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。  
適合性は使用者自身が決定しなければなりません。